

2026
11.11 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆発表者紹介

12:15-12:40

◆プレゼン

12:40-12:50

◆質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_sXXQ1rknSWydf5qcEvqyRg

【技術支援】九州大学 Q-AOS

『めげない心』の心理学

ーレジリエンスと心的外傷後成長 (PTG) を探る

3 すべての人に
健康と福祉を4 質の高い教育を
みんなに

Key Words

レジリエンス

心的外傷後成長

逆境

青年期

西川 里織 准教授

熊本大学 大学院人文社会科学研究部 / 共創学環

長崎県出身の愛猫家です。スウェーデンのカーlstad大学で学士(心理学)、ウメオ大学で医学博士(医療心理学)を取得しました。その後、長崎大学、広島大学、福井大学などで、実験や生物学的な手法を用いて、子どもの発達や心の働きについて研究してきました。2017年に熊本大学文学部に着任し、2026年から熊本大学共創学環で教育・研究に携わっています。専門は社会心理学・発達心理学です。人はなぜ人間関係の中で悩んだり、生きづらさを感じたりするのか。そして、つらい経験をしたとき、そこからどのように立ち直っていけるのか——そんな「人の心と人とのつながり」に関心を持っています。

私たちは人生の中で、さまざまな困難や逆境に直面します。同じような経験をして、その後の心のあり方や成長の仕方は人によって異なります。本セミナーでは、青年期を対象に行ってきた研究を中心に、「レジリエンス(逆境から立ち直る力)」と「心的外傷後成長(PTG)」の観点から、困難な経験にどのように適応し、そこから成長していくのかを考えます。「なぜ、くじける人と立ち直る人がいるのか」「人は逆境を通して成長できるのか」という問いを、心理学の研究から探ります。